

7/29 令和元年度地域コミュニティ活性化市町村担当職員研修会(第1回)

## 大野城市のコミュニティによるまちづくり

大野城市 地域創造部 コミュニティ文化課



2つの特別史跡  
■大野城跡 (日本百名城)  
■水城跡

01 大野城市の歩み

02 地域活動と都市内分権

03 パートナーシップ

04 大野城市の取り組み

# 01 大野城市の歩み

## 01 大野城市の歩み



1889年 大野村(3,855人)



1950年 大野町(10,192人)

博多と太宰府を結ぶ交通の  
要衝として発展



## 01 大野城市の歩み

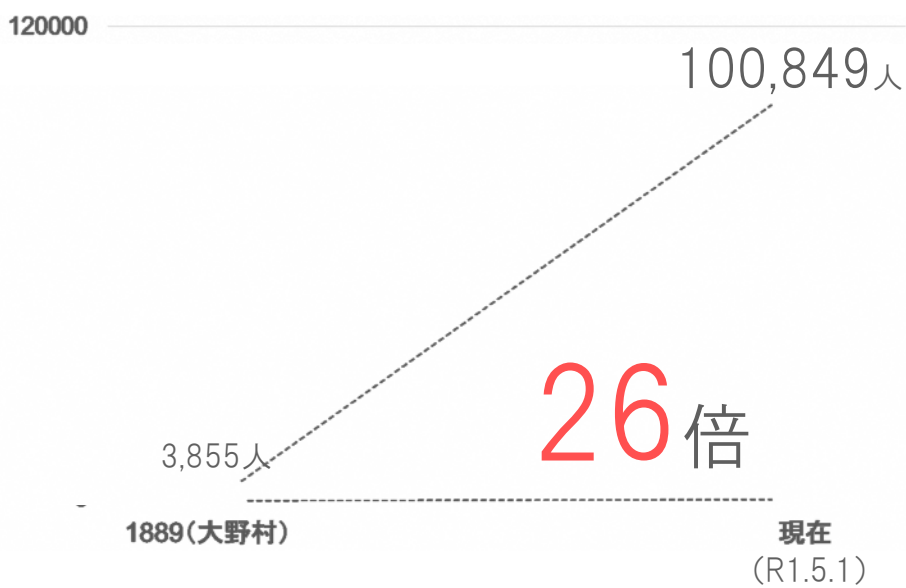


1960～70年代  
 地域ぐるみで新しいまちづくり  
 「まどか運動」  
 (大文字まつり、まどかリンピック 等)



1971年 総務省モデル  
 コミュニティ地区指定  
 1972年 市制施行(36,757人)

## 01 大野城市の歩み

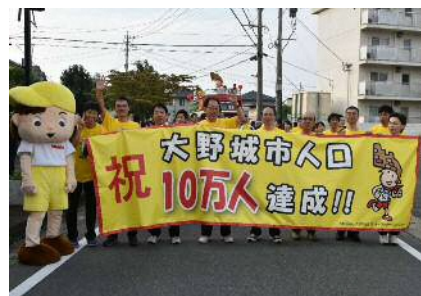


## 01 大野城市の歩み



1995年「コミュニティ推進構想」  
策定

コミュニティセンターの設置  
→市民活動の拡大



2008年「コミュニティ構想」策定

パートナーシップと  
都市内分権の推進

2017年「コミュニティ構想ver.2」  
策定

パートナーシップと  
都市内分権の深化

市はコミュニティ施策と共に発展

## 02 地域活動と 都市内分権





## 02 地域活動と都市内分権



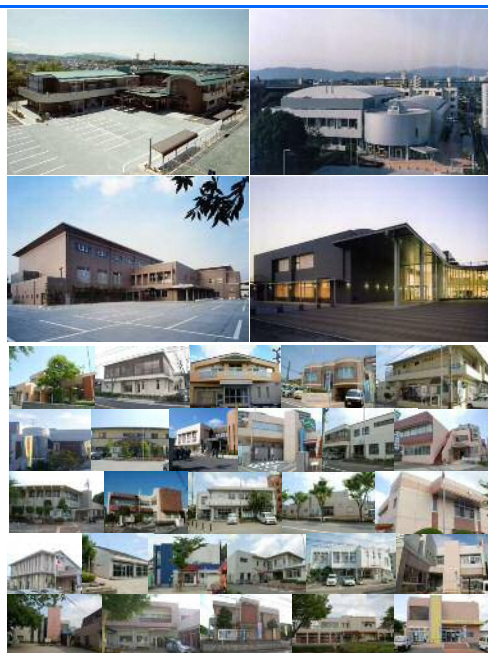
4つの地区コミュニティと

27の行政区(≒区)

### 都市内分権

市民により近いところで、  
地域の特性を活かした、  
地域に愛着を持つ市民による、  
まちづくり

## 02 地域活動と都市内分権



4の  
コミュニティセンター

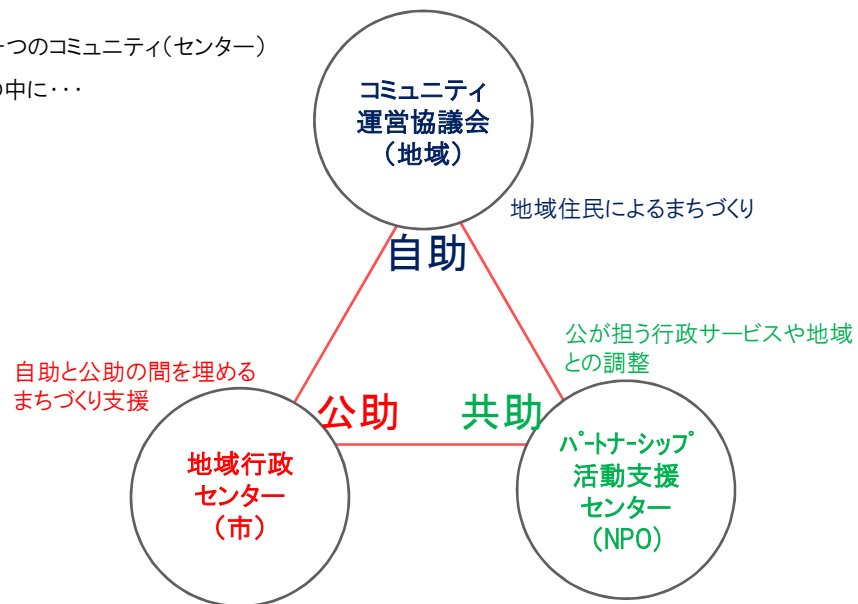
27の  
公民館

## 02 地域活動と都市内分権



## 02 地域活動と都市内分権

一つのコミュニティ(センター)  
の中に・・・



## 03 パートナーシップ

### 03 パートナーシップ



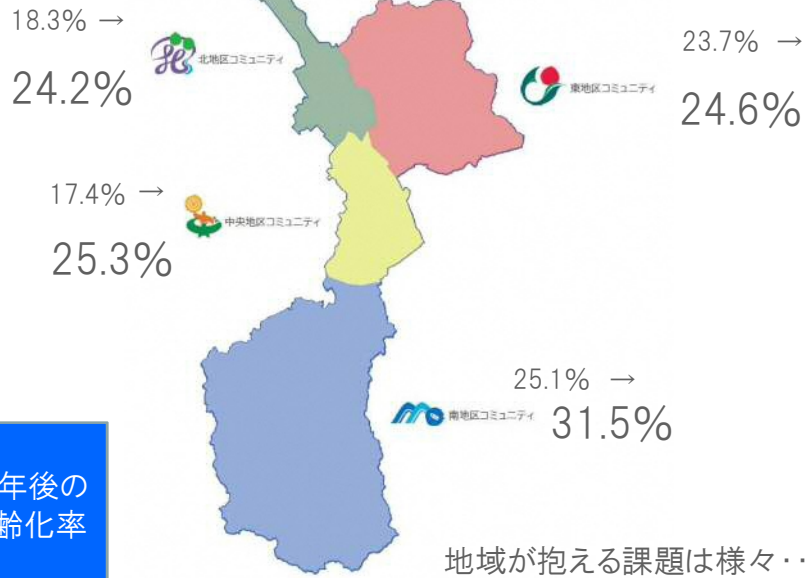
自治体を取りまく環境  
の変化

少子高齢化  
国際化  
地域の繋がりの希薄化  
頻発する自然災害 等





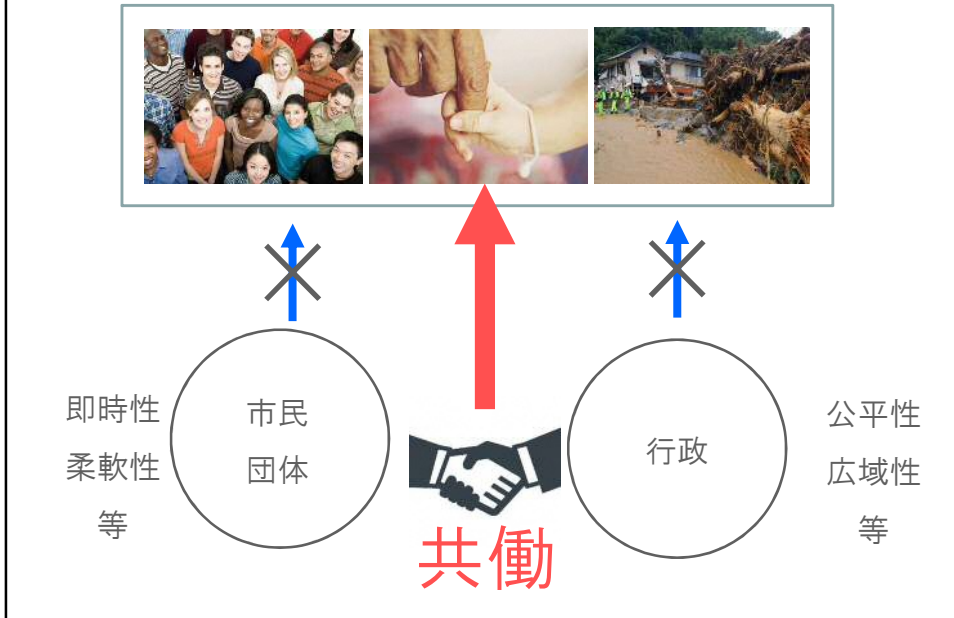
### 03 パートナーシップ



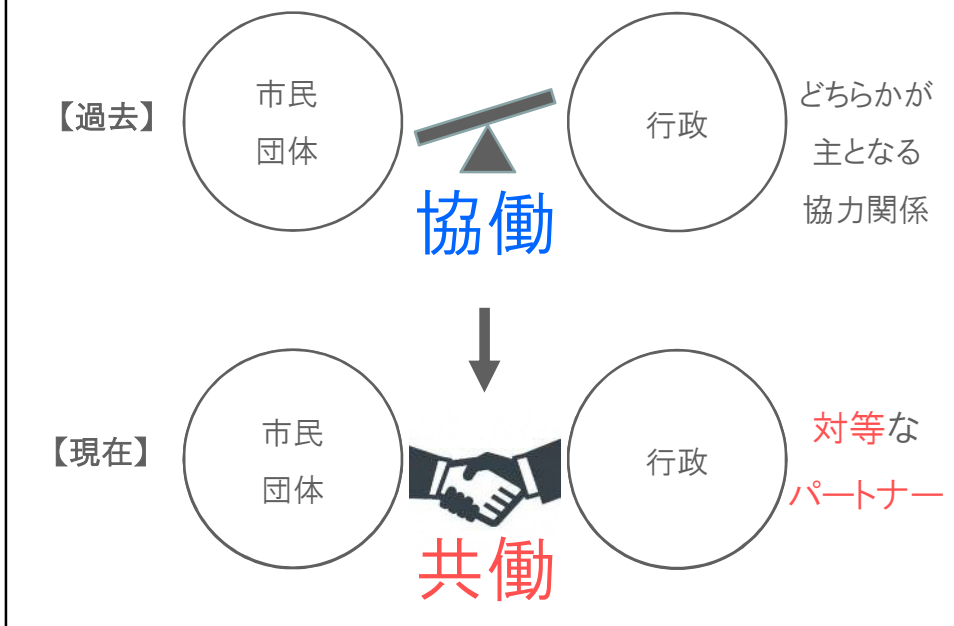
### 03 パートナーシップ



### 03 パートナーシップ



### 03 パートナーシップ



## 04 大野城市の取り組み

### 04 大野城市の取り組み

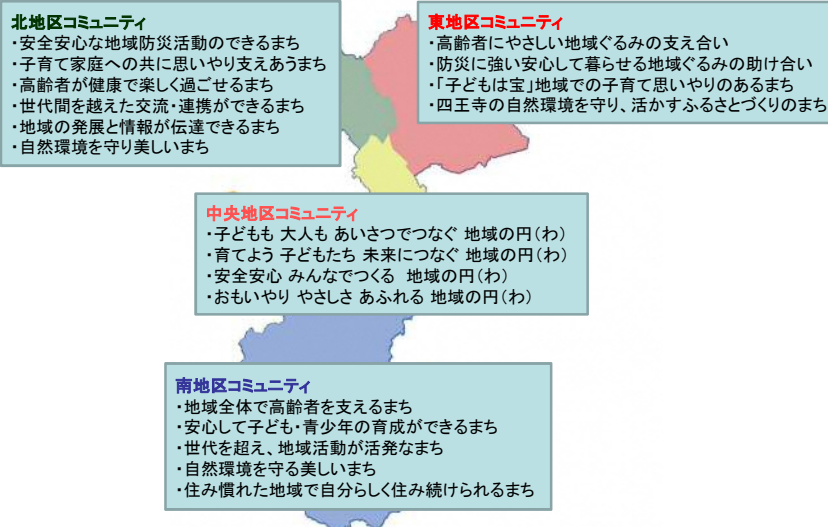
#### 1) コミュニティ別まちづくり計画

- ・コミュニティ条例第9条に基づき、地区コミュニティの住民及び活動団体が「自分たちのまちをどのようにしていきたいか」という共通の方向性を定めるために策定するもの。
- ・目指すべき将来像や、それ実現をする上での課題と、その解決策を定める。
- ・計画策定は、地域行政センター(行政)のファシリテーションのもと、コミュニティ運営協議会(市民)が主体となっていく。



## 04 大野城市の取り組み

### 1) コミュニティ別まちづくり計画 (地域のめざす姿・具体的計画)



## 04 大野城市の取り組み

### 2) 共働事業提案制度

#### 【概要】

- ◆ 地域で活動する団体等に提案を募集し、**団体と市との共働**によりきめ細かい市民サービスを提供すると共に、**地域課題**の効果的・効率的な解決や地域活力の向上を目的とする。
- ◆ また、提案団体が公共の担い手として認知されることで、**団体自身の活性化**にもつながるほか、**市にも共働の経験が蓄積**され、職員の共働への理解や意識改革が期待できる。

#### 【事業構成】

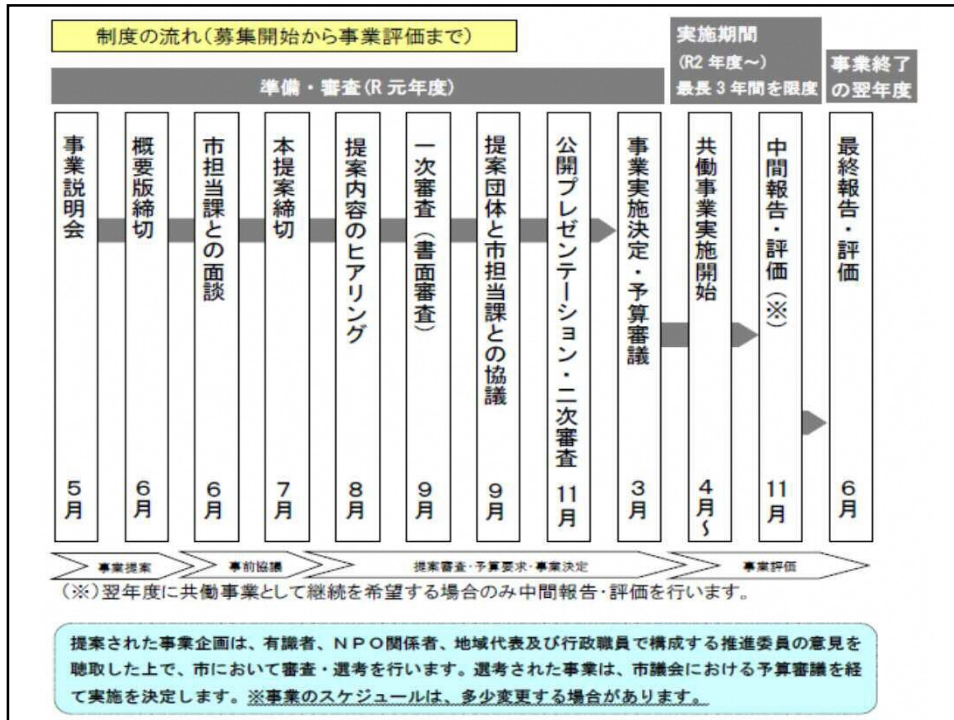
##### ① テーマ型事業

行政課題をふまえて市が設定したテーマに対する提案を求める。

##### ② 自由提案型事業

団体からの自由な提案に基づき、きめ細かな行政サービスの提供や専門性の活用等が期待できる提案を広く自由に求める。





## 04 大野城市の取り組み

### 2) 共働事業提案制度 ポイント是对等な立場

**【実行委員会方式】**

提案団体と市の経費負担や役割分担を定めた「共働協定書」を締結。提案団体と市が新しい一つの「実行委員会」を組織し、その実行委員会が主催者となって事業を行う。

**【双方が出資者】**

大野城市  
総事業費の  
5分の4以内  
上限200万円(※)

→

●● 事業  
実行委員会

←

提案団体  
総事業費の  
5分の1以上

※テーマ型事業の場合は、市の提示する予算の範囲内



## 04 大野城市の取り組み

### 2) 共働事業提案制度

#### 【これまでの実績】

- ① H27～29 「新高齢者支援事業」(テーマ型)  
南地区コミュニティ運営委員会 = 長寿支援課、南地域行政センター
- ② H28～30 「子育てママの活躍推進プロジェクト」(自由提案型)  
NPO法人チャイルドケアセンター = 子育て支援課
- ③ H29～31 「実のなるコミュニティガーデンづくり事業」(テーマ型)  
大野城市緑化推進協議会(緑進会) = 公園街路課
- ④ R1～ 「不登校児童生徒に対する訪問型支援事業」(テーマ型)  
NPO法人まちづくりLAB = 教育指導室



## 04 大野城市の取り組み

### 3) 市民公益活動促進プラットフォーム

市民公益活動を行う団体や市民が利用する 共通基盤(プラットフォーム)

- ① **総合ポータルサイト**  
インターネットによる市民公益活動の情報提供
- ② **ポイント制度「まどかぶらっと」**  
市民公益活動に参加することでポイントがもらえる制度  
⇒ポイントは市の特産品やグッズ、公共施設の使用料クーポン等の物品との交換や、活動団体への寄附等に利用できる
- ③ **プラットフォーム連絡会議**  
活動団体同士の連携・交流・成長の場

## 04 大野城市の取り組み

### 3) 市民公益活動促進プラットフォーム

#### ◆ポイント制度「まどかぶらっと」

個人 …… コミュニティセンターで登録し  
カード(まどぶらパス)を入手  
または スマホでアプリをダウンロード  
(この場合スマホがカード代わり)  
⇒ 公益活動に1回参加で1ポイント



団体 …… コミュニティセンターで申請し、認められれば専用タブレット  
端末を貸与  
⇒ 活動当日に、参加者のまどぶらパス(スマホ)のQRコードを  
読み込んでポイントを付与する



「2040年には全国1800市区町村の半分の  
存続が難しくなる」とも言われている今、

「持続可能なまち」をつくっていくためには  
地域コミュニティの活性化と、

地域・行政・企業等の密な連携により  
それぞれの特色や長所を活かして  
「共働」を進めていくことは  
今後不可欠であると思われま

自治体間でも連携しながら  
これからの時代を乗り越え  
明るいまちを 地域をつかっていきましょう！



大野ジョー

ご清聴ありがとうございました！